

会議録

会議の名称	令和2年度第2回加東市まちづくり推進市民会議		
開催日時	令和2年11月27日(金) 14時から15時50分まで		
開催場所	社公民館 2階 研修室		
議長の名 (座長 梅野巨利)			
出席及び欠席委員の名			
〈出席委員〉			
・坂本泰三	・繁本泰孝	・古田照代	・松井敏
・吉田亘秀	・梅野巨利	・須田康之	・立川さおり
・依藤栄一	・井上綾乃	・北嶋照子	・黒崎和子
・後藤和也	・田尻信生	・平川米一	・村上加奈子
〈欠席委員〉			
・南 椋太			
出席した職員の氏名及びその職名			
〈事務局等〉			
・市 長 安田正義	・まちづくり政策部長 小林勝成		
・まちづくり政策部企画政策課長 下岡正裕	・まちづくり政策部企画政策課副課長 山本幸平		
・まちづくり政策部企画政策課主査 村上計太			
〈事務局以外〉			
・総務財政部長 服部紹吾	・総務財政部総務財政課長 西山卓良		
・総務財政部管財課長 陰山芳輝	・総務財政部税務課長 杉本亜弥子		
・総務財政部防災課長 三木秀仁	・委員会事務局長 繁本雅和		
・委員会事務局次長 藤本弘子	・委員会事務局副課長 東谷雅之		
議題、会議結果、会議の経過及び資料名			
1 議題及び会議資料			
(1) 座長及び副座長の選出			
【資料1】加東市まちづくり推進市民会議設置要綱			
(2) 報告・協議事項等			
ア 令和2年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について			
【資料2】令和2年度まちづくり推進市民会議について			
【資料3】〔評価シート例〕令和元年度 第2次総合計画 前期基本計画 施策評価シート			
イ 第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理(施策評価)について			
【資料4】令和元年度 第2次総合計画 前期基本計画 施策評価シート〔政策IX・X〕			
2 会議の経過 別紙(第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過)のとおり			

令和3年1月8日

座長 梅野巨利
副座長 松井敏

(別紙) 第2回加東市まちづくり推進市民会議・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員 事務局	1 開会 2 市長挨拶 3 委員等照会 4 座長及び副座長の選出 5 報告・協議事項等 (1) 令和2年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について ○資料について事務局から説明 【質疑応答】
	・資料3の⑤の取組結果についてであるが、「H30」の欄には「●」が入っているが、「R1」は空欄である。今年度において、平成30年度から令和元年度までの取組に対して1次評価をしているのではないのか。 ・平成30年度から令和元年度までの取組評価は、「H30」「R1」の上の網掛けをしている欄に記載している。来年度評価する際は、網掛け部分の「●」が「R1」の欄に入り、網掛け部分は平成30年度から令和2年度までの取組に対する評価を記載するというシートとなっている。⑥の総合評価についても同様の考え方である。 (2) 第2次加東市総合計画前期基本計画の進行管理（施策評価）について ○政策IX主要施策(51)、(52)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】
委員	◆主要施策(51) ICTの利活用による市民サービスの安定化と利便性の向上 ・主要事業を構成する主な事務事業の通番3などで、進捗が「×」で、成果が「○」になっている。これは計画どおりには進んでいないが、何かしらの成果があったということか。
部長	・進捗については8割程度しか進んでいないというものには「×」をつけているが、一定の成果が得られたため、成果欄は「○」としている。
委員	・ICT利活用推進事業では、市役所内の事務作業や市民からの申請の処理に要する時間が短縮できたということなのか。
課長	・この事業は市役所内部の事務作業や市民の方の利便性の向上の両方を目的としている。令和元年度においては、税務課の滞納管理システムをクラウド化することにより管理コストや、管理する手間が省略できた。また、有害鳥獣捕獲のための無線式の捕獲パトロールシステムを導入し、猟友会が山中に仕掛けた罠に動物がかかれば自動で通知されるようにし、市民の利便性の向上にも努めた。
委員	・医療費助成の申請等においてオンライン化が進み、紙で申請するよりも早く手続きが完了するような仕組みにしてもらいたい。
課長	・今年度に給付した特別定額給付金の事務手続きに時間がかかったということがきっかけとなり、今後は、国において申請手続きの電子化が急激に進んでいくと考えている。しかし、総合計画や電子自治体推進計画を策定した段階では、急激なICTの推進まで推測することができなかった。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 【「異議なし」と呼ぶ者あり】
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(52) 健全な財政運営 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 【「異議なし」と呼ぶ者あり】
座長	・二次評価もBとする。
座長	○政策IX主要施策(53)、(54)の一次評価内容について担当部署から説明 ◆主要施策(53) 適正な財産管理と契約事務の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はAであるが、それで良いか。 【「異議なし」と呼ぶ者あり】

座長	・二次評価もAとする。
委員	◆主要施策(54) 市税の適正課税の推進と収納率の向上
課長	・まちづくり指標の市税滞納繰越調定額の約2億円とはどのようなものなのか。
委員	・令和元年度末時点の平成30年度までの市税の滞納金額を示しており、この金額を令和2年度に繰り越すというものである。
課長	・大きい金額であり驚いたが、回収する努力を続けるということか。
座長	・日々、回収に向けて取り組んでいる。
	・一次評価はAであるが、それで良いか。
	〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もAとする。
	○政策区主要施策(55)、(56)の一次評価内容について担当部署から説明
委員	◆主要施策(55) 交通安全・防犯対策の推進
	・B評価にしたのは、まちづくり指標で人身事故の件数や割合の項目が目標に届かなかったためとの説明があったが、人身事故の多い、少ないを判断する方法を教えてもらいたい。
課長	・令和元年度については、人身事故件数を135件まで減らすことを目標としていたが、145件の人身事故があった。また、高齢者の人身事故割合については、145件の人身事故による死傷者174名のうち、65歳以上の方が27名であったことから計算した割合である。事故件数については加東市発足以降で最も少なかったが、目標には達していなかった。
委員	・目標を達成できなかったのは、交通安全の啓発などの活動や、事故が多い場所の改善といったことが原因となるのか。
課長	・警察や交通安全協会と協力して各小中学校、こども園で交通安全教室を実施している。高齢者に対しても加東自動車教習所の協力を得て、交通安全教室を実施している。安全施設では、警察や学校と危険箇所や通学路を確認し、また、地区の要望を受けてカーブミラーや啓発用の看板を設置したりしている。しかし、結果として事故は起こっているため、さらに取り組みを進めていく。
委員	・要望であるが、横断歩道を人が渡ろうとしていても車が停止しないことを警察と連携する機会があったら伝えてもらいたい。歩行者保護をしっかりと、警察が取り締まりを行い、車の運転手も気を付ければ人身事故はもっと減るのではないか。
課長	・そのことについては、加東警察署も重要視している。横断歩道で歩行者優先というのは基本的なルールであり、取締りも実施していることは確認している。歩行者保護ということについては、引き続き警察と連携し、市からも周知を強化していく。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。
	〔異議なし〕と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(56) 消防・防災力の充実強化
	・防災行政無線戸別受信機設置率であるが、76.6%というのは非常に努力されていると思う。戸建住宅にはかなり設置されていると思うが、集合住宅や若者の住宅の設置率を教えてください。
課長	・戸建住宅の設置率はずっと高いと思うが、戸建住宅、集合住宅に分けて設置率を計算することはできない。集合住宅については、所有者の許可が出ないと設置できないといったことや、戸建住宅ではアンテナを設置するために壁に穴をあけなければならない場合もあり、それを嫌がる方もいるため、設置率が目標に達していない。
委員	・避難行動要支援者名簿を毎年更新しているとのことであるが、要支援者にはどのような人が該当するのか。各自治会に配布しているのか。また、各自治会で避難計画があるところや、現在、計画を作成しているところを把握しているのか。
課長	・避難行動要支援者名簿については、健康福祉部で作成している。高齢介護課が中心となり、高齢者や障害者の同意を得た上で名簿を作成し、各自治会に配布

委員	している。避難行動計画については、令和元年度に1地区が作成し、それに基づく避難訓練も行った。令和2年度においても一部の地区が作成に取り組んでいる。 ・現在、加東市には1,700人以上の外国人がいるが、外国人は要援護者に該当するのか。また、外国人に対する災害時の支援内容を教えてほしい。
課長	・外国人についても、避難の際は配慮や援護が必要と認識している。避難情報を外国人に伝えていくということでは、加東市国際交流協会や企画政策課と連携して取り組んでいる。令和元年度には日本語教室において防災講座を実施した。かとう安全安心ネットやひょうご防災アプリは、外国語にも対応しているため、普及啓発して情報を的確に入手してもらうということを主眼において取り組んでいる。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
	○政策X主要施策(57)、(58)の一次評価内容について担当部署から説明
座長	◆主要施策(57) 透明で公正な行政の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	◆主要施策(58) 農地等の利用の最適化の推進 ・まちづくり指標の耕作放棄地の面積であるが、農業の担い手が少なくなっているという事実があるため、努力をされているとは思いますが目標達成は難しいのではないか。
次長	・山際や鳥獣被害が多いような耕作するには不便なところは重点的な対象から除き、ほ場整備をされた優良な農地を重点的に保全していくこととして取り組んでいる。平成28年度の実績を目標としており、引き続き努力していく。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
	6 その他 今後の会議開催日程について
	○事務局から説明
	7 閉会